

関係各部、課長 殿

小郡市長 加地良光

令和 5 年度予算編成方針について

今年 6 月に「経済財政運営と改革の基本方針 2022」が閣議決定された。当該方針の中には、新型コロナウイルス感染症の蔓延、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻、経済の回復足取りが脆弱な中での輸入資源価格高騰、災害の頻発化・激甚化など、国内外の難局が同時に、そして複合的に押し寄せていると謳われている。さらに、急激な円安ドル高の進行、それに伴う物産価格の高騰に歯止めがかからず、国内景気の先行きは不透明である。

さて、本市の令和 3 年度の財政状況であるが、歳出決算においては全体として 13.1% 減となった。その主な要因は、特別定額給付金支給事業が令和 2 年度のみのものであったことなどにより補助費等が 67.4% 減となったことや、普通建設事業費が 16.9% 減となったことである。しかし、その一方で扶助費が 30.4% 増加し、義務的経費が 14.0% 増となった。

一方、歳入決算においては全体として 18.5% 減となった。その主な要因は、特別定額給付金事業が全額国庫支出金による事業であったことなどによって国庫支出金が 43.0% 減となったことである。また、普通建設事業費の減などにより、市債が 16.4% の減となった。歳出の減少に伴って、それらの特定財源は減となったものの、地方消費税交付金 10.0% 増、地方交付税 22.6% 増となるなど、一般財源については増となっている。

その他、財政健全化判断比率は、早期健全化基準を下回っており、実質公債費比率は 0.2 ポイント悪化し 8.0%、将来負担比率は 4.9 ポイント改善の 18.7% となっている。将来負担比率の改善について、財政調整基金等の積み立てにより、基金全体の残高が増加したことなどが主な要因である。また、財政構造の弾力性を測る経常収支比率については 5.6 ポイント改善の 91.4% となった。

本市の決算において、財政調整基金を約 14 億 8 千万円積み立てたが、これは一般財源のうち依存財源の増加によるところが大きい。具体的には、地方消費税交付金の増加や、国の経済対策などによる地方交付税の増加などである。一般財源が増加した一方で、依然として扶助費が増加傾向にあることから、今後も財政が逼迫すると思料される。

このように、厳しい財政状況が続く中、少子高齢化対策や老朽化した公共施設の修繕、更新などに対応しながら、ウィズコロナを意識した事業の手法やデジタル化の推進などクリア

すべき課題は多い。令和元年5月に「小郡市緊急財政対策計画」を策定して以降、全部署において事務事業の見直しに取り組んできた。これは、単に経費節減にとどまるものではなく、施策の効果・効率を鑑みて優先度の高い事業に財源を振り替えるための手法として、全庁的に推し進めてきたものである。当該計画の期間は令和4年度末までとなるが、今後も、限りある財源の中で多様化する市民ニーズに対応していくため、効果の薄れた既存事業を見直すことで財源を生み出し、財政調整基金の取り崩しに頼らない財政運営の定着を図る。

以上のことから、令和5年度予算編成は、下記の事項に留意し取り組まれない。

記

1. 通年予算としての編成

令和5年度当初予算は、原則として通年予算として編成する。このため、年度中途の予算編成（補正予算）は、制度改正、災害等の緊急なもの、真にやむを得ない計画の変更によるもの以外は行わないので留意すること。

2. 歳入確保と歳出削減

歳入について

自主財源については、市税の徴収率向上、未利用地の売却など保有資産の有効活用、受益者負担の適正化等あらゆる角度から財源確保を図ること。依存財源については、国・県の施策動向に注視しつつ、既存予算も前例踏襲して要求することなく補助申請できるものがないか再度確認する等、財源確保に努めること。また、単独事業を行う際は、各種団体の助成金活用を検討するなど市費負担の削減に努めること。

歳出について

小郡市緊急財政対策計画は終了したものの、引き続き、当該事業の必要性、費用対効果を高めるための手法の変更を検討すること。特に、DXの導入により費用の削減をしながら効率化できる事業については積極的にDX化の推進をすること。また、昨年度から見直しに取り組んでいるところではあるが、市からの補助金については、補助金を交付することによる成果を明確にし、補助の対象範囲、必要性を精査し、適切な補助金支出に努めること。

3. 決算を踏まえた予算編成

当初予算の要求に当たっては、直近の決算における事業の評価を活用すること。施策の目的に照らして事業内容が効果的なものとなっているか検証し、目的達成に向けて今後解決すべき課題を洗い出し、それらの評価によって事業の拡充・維持・統廃合の方針を整理の上で予算化すること。